

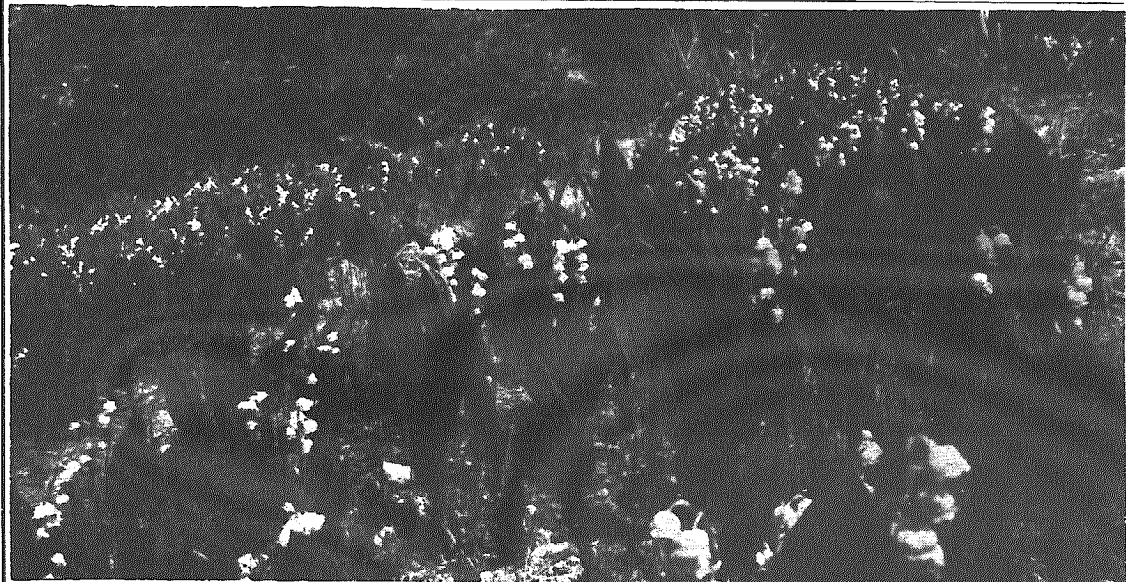
いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷KK

No. 38

殺虫剤のまき方

殺虫剤には、粉末、油剤、乳剤など種々あり、それぞれ使い方が違います。使い方についての注意は1.衛生係を指導のもとで村内いっせいにそのろってやるとよい。2.薬をまく時は、食品や食器にかかからないよう新聞紙でおおっておく。又、あとで入浴、洗面しや皮膚を洗い流しておく。3. DDT, BHCをまいた後は、洗濯や掃除をせずとしておく。4. 風を強くし、粉末はさけよう。5. 油剤、乳剤でも風上から始めて、風下でようにする。6. ごみ溜、汲み取り口ばかりでなく、ボウフラの発生しやすいところ、花立てなどをよく見落さずまく。



すずらん 昭和36年、北魚沼郡堀之内町すずらん栽培組合から繁殖芽6万株を購入し、間瀬農協で5アール、岩室の有志で2アールの開墾畑へ移植した。
その後、栽培者の丹精が凝り昨年はすでに2万芽を出荷し、10万円からの収益をあげている。
山あいの傾斜地を利用した開墾畑で、可憐で清楚な花をつけるすずらんは、最盛期には旅館を訪れる観光客に、土産品として結構よろこばれている。
(写真は山あいの傾斜地に咲くすずらん)

村税の徴収は

6月から

「保険税は、平均7割の増額」

村税は、村民税・県民税・固定資産税・軽自動車税・保険税を合せ、集合主税として、例年のとおり6月から3月まで、10期に分けて納税していただくことになりました。
村民のご理解とご協力によりまして、納税成績は常に郡内の上位をしめ、昭和三十九年度分は、三月末現在郡内トップの成績になっております。
納税成績のよしあしが、村行政の運営を大きく左右します。昭和四十年度も、前年以上のご協力をお願いいたします。
昭和四十年度の税負担(前号掲載)については、村民税は本文方式に全国統一された結果、前年同額所得の場合、二〇%程度軽減されますが、県民税はすでに本文方式によって賦課されておりましたので、村全体として五〇%程度増徴になります。
所得の増加率を全体の平均でみますと、給与所得者一五%、農業所得者一〇%、営業所得者二%と、いずれも増加しておりまして、特に青色申告者が多く伸びているようです。

びているようです。
本年度は所得の増加により、税額が多くなる人もあります。
個人々々の相違はありますが、一%以上所得が増加した個人は、村民税額が増前年より増額することになります。
固定資産税については、評価額は増置ですが、税率百分の一・四を一・五に改正した結果、田一反の平均無額に対して、四二%程度増額になります。
保険税については、ご承知のように、テレビ新聞で医療費や国民健康保険事業

納税には「前納報償金制度」の活用を

納税通知書に記載された各納期の税額を、納期前に前納されますと、一ヶ月につき、税額の百分の一に相当する報償金が交付されます。
例えば、税額一万円の人には、各納期毎の税額が千円になり、これを第一期に全部まとめて納税されますと第二期分一千円を納税するに比べて、一ヶ月分納税したとき、百分の一の相対的減額が九千円、合計四五〇%の報償金が交付されるわけになります。
都合のよい時に、都合のよい額を前納されて、実質的に税金が減額となる、この前納報償金制度を、活用されることをおすすめいたします。

の問題が、大きく報道されており、医療費増大、給付率引上げ、受診率上昇などで、全国的に運営が四苦八苦の事態に追い込まれており、本村では前年に比し、七割程度の保険税が増税されることになりました。(被保険一世帯平均約一五〇〇〇円位)
被保険者のみなさんには、社会医療福祉の趣旨をご認識されまして、特段のご協力をお願い申し上げます。
以上ご挨拶申し上げます。保険税の増徴を中心に、年間村税の負担は、全体として、前年に比し、相当の増額になるものであります。
お互いに、決して楽でない経済の中から、納税されていることは充分理解できているが、今後共、納税には一層のご協力を下さるようお願いいたします。